

**製品名: グランザイム H ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11742**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GZMH
別名	GZMH; CGL2; CTSSL2; Granzyme H; CCP-X; Cathepsin G-like 2; CTSSL2; Cytotoxic T-lymphocyte proteinase; Cytotoxic serine protease C; CSP-C
遺伝子 ID	2999.0
SwissProt ID	P20718
免疫原	抗血清はヒト GRAH 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 51-100

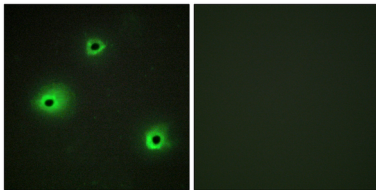
**背景**

この遺伝子は、セリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファミリーのメンバーをコードしています。選択的スプライシングにより複数

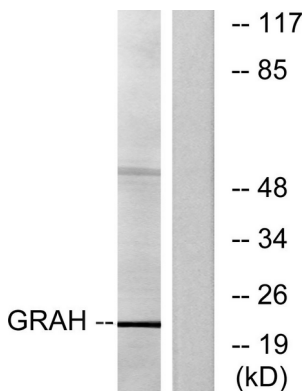
の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によってキモトリプシン様プロテアーゼを生成するプレプロタンパク質をコードしています。このタンパク質は、免疫系のNK（ナチュラルキラー）細胞で恒常的に発現することが報告されており、標的細胞死を誘導し、病原体感染細胞において基質を直接切断することにより、自然免疫応答の細胞傷害性機能において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子は、14番染色体上のグランザイムサブファミリーの他のメンバーとともに遺伝子クラスターに存在します。[RefSeq 提供、2015年11月]、機能：この酵素は、細胞性免疫応答における標的細胞の溶解に必要と考えられます。、類似性：ペプチダーゼS1ファミリーに属します。、類似性：ペプチダーゼS1ファミリーに属します。グランザイムサブファミリー。、類似性：1つのペプチダーゼS1ドメインを含みます。、細胞内局在：細胞傷害性Tリンパ球の細胞質顆粒。、

## 研究分野

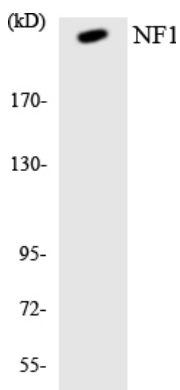
## 画像データ



GRAH抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



GRAH抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NF1抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。